

第47回 社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会

第10回 日本精神保健福祉士学会学術集会

癒しの地 和歌山大会

～過去から未来へ、受け継がれるもの、そして進化させるもの～

開催のご案内

【大会・学術集会参加費】

構成員(早割) 8,000円
非構成員(早割) 12,000円
学生(早割) 5,000円

※その他の参加費区分の説明は、
P17の「お申し込みのご案内」
をご覧ください。

※早割申込み締め切りは
5月6日(金)となっております。

日程:2011年6月9日(木)～6月11日(土)

会場:(9日,11日)県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
(10日)和歌山市民会館
(10日懇親会)ダイワロイネットホテル和歌山

もくじ

開催テーマ	1
開催のご挨拶	1
大会・学術集会プログラム	2
通常総会	2
プレ企画	3
基調講演	5
特別講演	5
記念講演	6
懇親会（チラシ）	7
分科会Ⅰ	8
分科会Ⅱ	11
ポスターセッション	14
参加にあたって	15
主催・協力・後援機関一覧	16
お申し込みのご案内	17

連絡先一覧

【社団法人日本精神保健福祉士協会事務局】 TEL 03-5366-3152
FAX 03-5366-2993 E-mail office@japsw.or.jp
〒160-0015 東京都新宿区大京町2-3-3 四谷オーキッドビル7F

【大会・学術集会事務局】医療法人宮本病院 地域活動支援センター櫻
大会専用電話 090-6709-8911 E-mail info@psw47.com
〒641-0054 和歌山県和歌山市塩屋3-6-2

【会場】

- 6月9日（木）、11日（土）
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 TEL 073-435-5200
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
- 6月10日（金）
和歌山市民会館 TEL 073-432-1212
〒640-8204 和歌山市伝法橋南ノ丁7
- 6月10日（金）懇親会
ダイワロイネットホテル和歌山 TEL 073-435-0055
〒640-8156 和歌山市七番丁2-6-1

【旅行会社】トップツアー株式会社 和歌山支店 TEL 073-425-3211
〒640-8331 和歌山市美園町4-90 山十ビル3F

<http://psw47.com> (パソコンでも携帯電話でもアクセスできます)

開催テーマ

「過去から未来へ、受け継がれるもの、そして進化させるもの」

開催のご挨拶

緑深き熊野の山々、若鮎が踊る清く澄んだ川の流れ、初夏の陽光に輝く海、訪れる夏を待ちかねるような青い空と白い雲。「蟻の熊野詣」として遠い昔から多くの人々が訪れた「こころの癒しの地」。弘法大師（空海）が開いた厳しくも優しく世界を包み込む「密教の聖地、高野山」。ここ和歌山は長い歴史を通じ、現在まで人々の安寧の願いを受け入れてきました。その脈々とした歴史の流れを持つ当地において、第47回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第10回日本精神保健福祉士学会学術集会が開催できますことを本当に幸せに、光栄に感じております。



初めての和歌山での開催にあたり、今大会のテーマは「過去から未来へ、受け継がれるもの、そして進化させるもの」とさせていただきます。そして開催に向けて構成員やご協力下さった関係各位、機関が全力で準備を進めてまいりました。

基調講演では、本協会会長の竹中秀彦氏に私たちの掲げた大会テーマにそってご講演をいただき、記念講演では、佐野章二氏をお迎えし「挑戦～人と社会をつなぐ取り組み」をテーマとして現代社会の実情を確認し、その中で人やこころのつながりを創造することが「今を、そして未来を切り拓く」大きなパワーになることを学ぶ機会になればと思っております。プレ企画や分科会、ポスターセッションにおいても、多様で多彩な角度や視点から実践や活動を報告、提言いただきます。懇親会の場では、全国から集まっていたいただいた皆様がゆっくりと意見交換や交流を深めていただければ幸いです。

今、私たちは「精神保健福祉士」や精神保健福祉の「実践者」として歩みを続けています。しかし、私たちが歩める道や土台は、多くの先達者や当事者、ご家族のたゆまぬ努力と汗と涙、笑顔が作り出してくれたものです。その方々が教え、造り、築いてくれたかけがえのない「宝物」を未来に向かって確実なものとし、さらなる輝きとゆるぎない広がりになければなりません。その節目としてこの和歌山で全国の仲間たちが集い、学び、つながりを深めていただければ幸いです。

結びに、まだまだ未熟で微力な私たちを、今大会・学術集会開催までお導きいただいた、全国の皆様、並びに県内外の関係機関の皆様にごことより感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第47回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会
第10回日本精神保健福祉士学会学術集会
大会・学術集会展長 栗田 直嗣

大会・学術集会プログラム

6月9日(木)	午後	12:00	13:00~14:45	15分	15:00~16:45				
		受付	プレ企画						
			Pre I	精神保健福祉士の専門性 (途中休憩あり)				休憩	Pre IV 『はたらきたい』にどう応えていますか？
			Pre II	長期入院患者さんの想いを聴く		Pre V	みんなで悩めばこわくない！		
Pre III	自死予防活動の実際								
★会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 (和歌山市手平2丁目1-2)									

6月10日(金)	午前	9:00	9:30~10:00	15分	10:15~11:45	60分	
		受付	開会式	休憩	基調講演：過去から未来へ、受け継がれるもの、そして進化させるもの 講師：竹中秀彦 (本協会会長・京ヶ峰岡田病院)	昼食	
午後	12:45~13:30	15分	13:45~15:00	30分	15:30~17:30	60分	18:30~20:30
★会場：和歌山市民会館 (和歌山市伝法橋南ノ丁7) 懇親会：ダイワロイネットホテル和歌山 (和歌山市七番丁26-1)							

6月11日(土)	午前	受付	8:30	9:15~11:45				60分	
			分科会 I						昼食
			I-①	乳幼児、児童・思春期における早期支援の取り組み		I-④	生活の場へ出向く訪問型の支援		
			I-②	抱んでいますか？家族のニーズ～求められる支援		I-⑤	耕そう！創ろう！豊かな地域精神保健福祉		
I-③	権利を護る仕組みと実践から		I-⑥	さまざまな支援における精神保健福祉士の役割					
午後	12:45~15:15	15分	分科会 II				15:30~16:00		
			II-①	スクールソーシャルワーカー等教育の現場から		II-④		促進しよう！地域移行支援	
			II-②	ピアサポートの支援と当事者からの学び		II-⑤		働きたい、働き続けたいを支援する	
			II-③	精神保健福祉士の養成教育とスーパービジョン		II-⑥		多様な領域における支援	
ポスターセッション									
★会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 (和歌山市手平2丁目1-2)									

※プログラムの白字 (例：Pre I) は、FAX による申込み番号です。

通常総会

6月10日 (金) 15:30~17:30 和歌山市民会館

総会は、構成員が協会の運営に関して自身の意思を伝えることができる大切な機会です。6月10日に和歌山へお越しになっている構成員は、必ずご出席ください。

「総会受付」は休憩時間に複数回行う予定です。受付時間等は当日、本部事務局よりご案内いたします。

なお、2011年度ご入会の方には、本総会議決権はありません。ご希望の方は「傍聴参加」となります。

必須アイテム→



Membership Card



会章 事前送付の議案書

プレ企画

6月9日(木) 13:00～16:45 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

Pre I 精神保健福祉士の専門性

～業務指針の意義と活用を考える～

【時間】 13:00～16:45 【定員】 80名 【形式】 講演とグループワーク形式

【講義】 「精神保健福祉士の理念～倫理綱領を読み解く～」

講師：西澤 利朗（目白大学）

【講義】 「業務指針(第1版)の概説～作成経過と課題～」

講師：古屋 龍太（日本社会事業大学）

【講義・演習】 「理念に根差した実践～業務指針の活用について～」

講師：富澤 宏輔（大阪人間科学大学）

【コーディネーター】 西村 睦美（川越病院）

【内容】

私たちは精神保健福祉士としてどのような領域にあっても、専門職としての理念を持ち、これを各自の「業務」に照らして実践しなければなりません。そして、それは利用者への責任を果たすだけでなく、専門職配置の根拠を明確に示すという意味を持っています。

これまでも、本協会では精神保健福祉士に固有の価値に基づく日々の実践を可視化する作業に取り組んできました。2010年には、精神保健福祉士のみならず他職種をはじめ利用者や国民に対しても「精神保健福祉士は何を大切に、何を行う職業か」を、根拠を持って示すために「業務指針第1版」を作成しました。また、調査を通じて精神保健福祉士の業務実態を明らかにしていく試みも継続しています。

今回のプレ企画では、昨夏に課題別研修として実施し大変好評だったプログラムを短縮しつつ「専門性に根差した"わたし"の実践」について、参加者同士で意見交換する時間も用意しています。「過去から未来へ受け継ぐべきもの」を再確認する内容で、大会の本企画への導入としてみようという内容の一つです。明日からの実践の「根っこ」を見直す機会として、ぜひご参加ください。

※ 業務指針第1版は当日資料として配布します。

Pre II 長期入院患者さんの想いを聴く

【時間】 13:00～14:45 【定員】 50名 【形式】 シンポジウムとグループワーク形式

【コーディネーター】 岩上 洋一（埼玉北障がい者生活支援センターふれんだむ）

【シンポジスト】 遠藤 紫乃（NPO法人ほっとハート）

【聴き取り調査を行った委員】 (調整中)

【先進地長野の実践者】 (調整中)

【司会進行】 岡部 正文（茨内地域生活支援センター）

【内容】

精神保健福祉士法の成立から10年が過ぎましたが、長期入院は解消したと言えるでしょうか。残念ながらまだ解消していません。退院した患者さんからは「自分より長い入院の人がいるので自分の順番はまだ来ないと思っていた」「スタッフは皆忙しそうで自分の話なんか聴いてもらえるとは思えなかった」などの話が繰り返し語られています。我々は長期入院と呼ばれる入院患者さんの話をこれまできちんと聴いてきたでしょうか。目の前の仕事に追われる中、長年の入院生活で病院が住みかになり、大人しく日々

過ごしている彼らのことを分かったつもりになっていないでしょうか。彼らがどんな希望を持ち、何がしたいのかを丁寧に聴くという当たり前のことがまだ十分に成されていないのかもしれませんが。だとすれば、私たち自身が長期入院患者さんに対して重大な権利侵害を犯してきた側面もあるのかもしれませんが。

そこで長期入院患者さんの話を改めて丁寧に聴いてみるという、ごく当たり前でありながらも非常に大切なことに取り組んだ長野県の実践と精神保健医療福祉委員会等の取り組みを中心に、そこから見えてきたこと、実施上の工夫などについてご参加の皆さんと共有する機会を準備しました。後半のグループワークでは、自分の地域や所属において明日から何ができるか、そのための準備をどのように進めるか、ご参加の皆さんが明日からのヒントを持ち帰れるようなセッションにしたいと思います。

Pre III 自死予防活動の実際

～白浜レスキューネットワークの取り組みを通して～

【時間】 13:00～14:45 【定員】 90名 【形式】 講演形式

【講師】 藤藪 庸一氏 (NPO白浜レスキューネットワーク代表)

【内容】

わが国では、平成10年から自殺者数が30,000人を越えています。自殺は心理的に追い詰められた末の選択であり、自殺者の多くは直前にうつ病などの精神疾患を発症していることが分かっています。

この情勢のなか白浜バプテストキリスト教会では、約30年前から白浜三段壁に「いのちの電話」看板を設置し、自殺志願者への救助を続けておられます。

では、私たち精神保健福祉士が自死予防、自死を選択しない社会づくりやメンタルヘルスの向上について、専門職としてできること、求められることはなんでしょうか？白浜レスキューネットワークの実践、思いを聴き「何を大切に自死予防に取り組むのか」そして「いのちとは、生きることは何か」について共に考えてみませんか。

【講師プロフィール】

1972年、和歌山県白浜町生まれ。東京基督教大学神学部神学科卒業後、1999年に郷里の白浜バプテストキリスト教会の牧師になる。また2006年にNPO白浜レスキューネットワークを立ち上げる。

「いのちの電話」での相談とともに、三段壁を訪れる自殺志願者を保護し、教会で寝泊まりさせる共同生活を通じて、自立を目指す支援活動を行っている。さらに地域における子どものこころ育てなど、自死予防についての取り組みは多岐にわたる。これらの活動は近年メディアにも取り上げられ注目されている。



Pre IV 『はたらきたい』にどう応えていますか？

～就労支援を通してその人らしい生活を考える～

【時間】 15:00～16:45 【定員】 90名 【形式】 パネルディスカッション形式

【パネリスト】 柳瀬 敏夫氏 (社会福祉法人やおき福祉会)

山本 哲士氏 (社会福祉法人一麦会)

【コーディネーター】 長島 隆氏 (和歌山県立こころの医療センター)

【内容】

この企画では、当事者の「はたらきたい」について「いかに賃金をあげるか」や「いかに職に就くか」といった目の前の課題ではなく、就労支援を通して当事者の人生にどうかかわってきたかについてお話し頂きます。そのため実践報告ではなく、実践を支える視点や思いを中心にパネルディスカッションを行っていただきます。

パネリストは和歌山で当事者の思いを柱に、地域に根差した実践を行ってきたPSWの方々です。まだ、社会資源や制度が整備されていない頃から、当事者のために道を切り開いてきたPSWに、今まで大切にしてきた思いを聴き、改めて「当事者の思いに応えられているか」を振り返り、考える機会になればと考えています。

Pre V 【初任者企画】 みんなで悩めばこわくない！

【時間】 15:00～16:45 【定員】 40名 【形式】 グループワーク形式
【対象】 経験年数3年程度までのPSW

【内容】

「相談を受けているけど、実はあまり自信がない」「〇〇さんを怒らせてしまった。どうしよう・・・」「精神保健福祉士として就職したけど、今の仕事って事務員みたい」など日頃、現場で感じる不安やとまどい、そして葛藤などはありませんか？

でも、初任者の頃は毎日が目の前の支援や業務に精一杯で、立ち止まって考える時間もなく、通り過ぎていってしまうことも少なくありません。

この企画では初任者のグループのなかで、日頃感じている思いや悩みを話し合うことで、自分自身の気持ちと向き合い、また様々な思いについてグループで分かち合えればと考えています。

そして、精神保健福祉士としての専門性や実践の中で大切にしている思いについて、改めて確認できる企画にしたいと思います。

そう！「みんなで悩めばこわくない！」全国の仲間と共に元気になり、明日への支援につなげましょう！

基調講演

6月10日(金) 10:15～11:45 和歌山市民会館

【演題】「過去から未来へ、受け継がれるもの、そして進化させるもの」

【講師】 竹中 秀彦（京ヶ峰岡田病院 PSW部・リハビリテーション部
部長、社団法人日本精神保健福祉士協会会長）



【内容】

近年、時代や社会情勢の変化とともに、精神保健福祉士の職域や役割が広がり、多様化している中で、精神保健福祉士の専門性が問われている状況にあります。私たちは自身の立脚点を今一度確認し、いかなる立ち位置にいるべきかを考える必要があるのではないのでしょうか？

今回の基調講演では、現会長の竹中秀彦が「過去から未来へ、受け継がれるもの、そして進化させるもの」というテーマで講演いたします。

特別講演

6月10日(金) 12:45～13:30 和歌山市民会館

【演題】「精神保健福祉医療施策の現状と課題～精神保健福祉士に求めるもの～（仮）」

【講師】 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課（予定）

記念講演

6月10日(金) 13:45~15:00 和歌山市民会館

【演題】「挑戦 ～人と社会をつなぐ取り組み～」

【講師】佐野 章二氏 (有限会社ビッグイシュー 日本代表)

【内容】

現在、国内に2万人以上いるとされているホームレス。この深刻な社会問題の解決に、「路上生活者を販売員にする」という新しい発想で挑んできたビッグイシュー日本代表の佐野章二さん。最近ではメディアに取り上げられる機会も多い、ホームレスのみ売ることができる雑誌『ビッグイシュー』は、2003年の創刊以来着実に若い読者を増やし、彼らの自立化に寄与してきました。定価300円のうち160円が販売者の利益になり、ホームレスの救済ではなく仕事を提供し自立を応援する事業となっています。2007年には「ビッグイシュー基金」を設けるなど、常に新しいことにチャレンジし続ける社会企業家のトップランナーです。

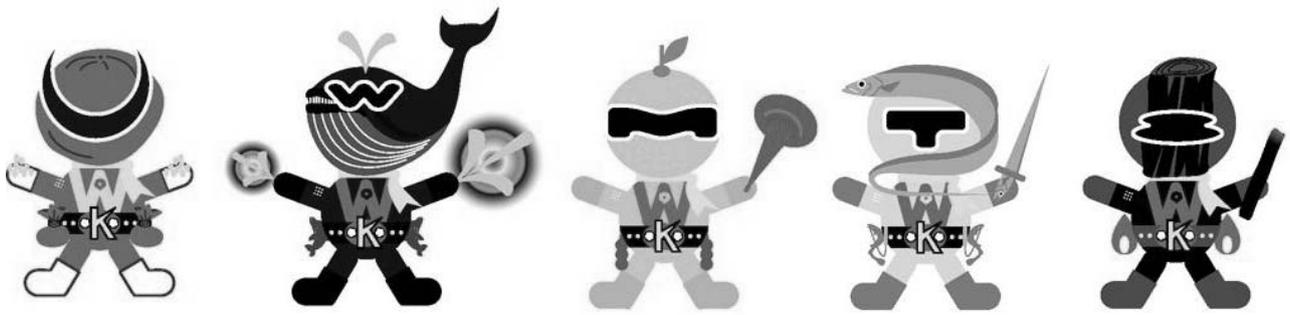


ホームレスは、単に家を失った人ではなく、希望まで失った「ホープレス」だと言われています。『ビッグイシュー』は彼らが失った社会との絆・つながりを再構築し、生きる希望を生み出そうと人生をあきらめない挑戦を続けてこられました。

私たち精神保健福祉士は、現在目の前にある社会的な問題や課題に対して、どのような視点を持ち取り組むべきなのか。これまでの実践を語っていただく中で、その答えを見つけることができればと考えています。

【講師プロフィール】

1941年大阪生まれ。映画プロ、大学、都市・地域コンサル事務所勤務などを経て、1980年独立し、地域調査計画研究所を設立。本業の傍ら、市民活動に関わり、「市民公益活動基盤整備調査研究」等を行い、NPO法制度の基礎づくりを行う。阪神・淡路大震災の折には緊急型、地元型、ポスト震災型の救援組織立ち上げを支援する。2003年9月ホームレスしか売れない雑誌『ビッグイシュー日本版』を創刊、10年末まで158号、累計438万冊を販売、5億8,863万円を提供する。

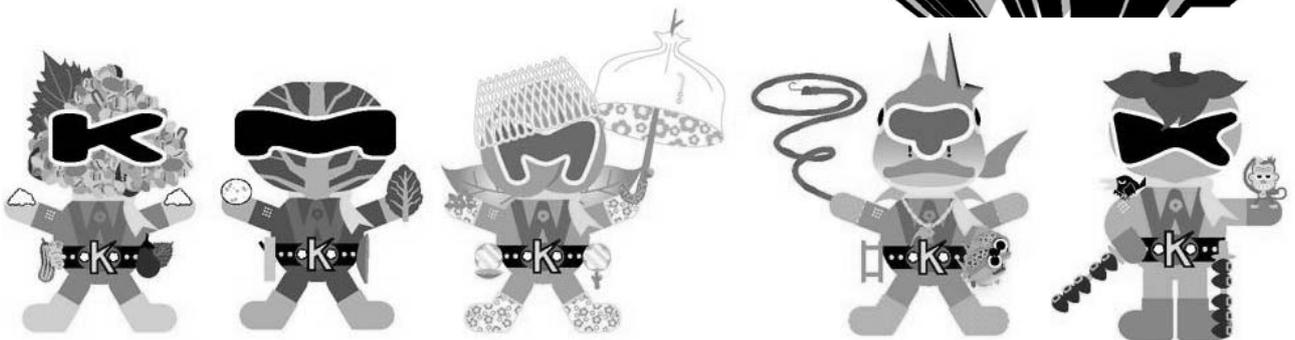
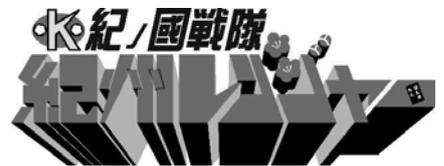


懇親会



ライトアップされた和歌山城と共に
皆さんをお待ちしています

日時：6月10日（金）18時30分～
会場：ダイワロイネットホテル
参加費：7,500円



和歌山には美味しいもんがいっぱいやでえ。ええわして、和歌山!!

分科会 I

6月11日(土) 9:15～11:45 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

I-① 乳幼児、児童・思春期における早期支援の取り組み (定員90名)

- ①-1 幼児期の発達障害の特徴とその支援～保育士として精神保健福祉士として～
○白石 靖恵 (つくば市障害者センター荃崎)
- ①-2 児童精神科における精神保健福祉士の役割
～デイケアにおける発達障がい児への取り組みから～
○山下 亨 (三重県立小児心療センターあすなる学園)
- ①-3 保育士から見た精神保健福祉の知識と援助技術の必要性に関する一考察
○今川 晋平 (東北福祉大学大学院)、小木曾 眞知子 (アザレア作業所)、
阿部 正孝 (東北福祉大学)
- ①-4 保育士の保護者支援に必要な精神保健福祉援助技術
～精神保健福祉士の一考察 東海地方の保育園3事例から見えてきたもの～
○小木曾 眞知子 (アザレア作業所)、今川 晋平 (東北福祉大学大学院)、
阿部 正孝 (東北福祉大学)
- ①-5 精神科早期支援事業における精神保健福祉士の役割
○濱 幸伸 (三重県立こころの医療センター)

I-② 掴んでいますか？家族のニーズ～求められる支援 (定員90名)

- ②-1 浅香山病院における家族教室の変遷
○駒野 敬行・久田 真喜子 (浅香山病院)
- ②-2 若年認知症本人・家族の会ラフラフにおける取り組みと精神保健福祉士の役割について
○横溝 稔・倉橋 桃子 (浅香山病院)
- ②-3 精神障害者を抱える家族の実態調査から
○大畠 信雄 (和歌山県精神保健福祉家族会連合会)、加藤 直人 (障害者就業・
生活支援センターつれもて)、川村 ゆり (麦の郷和歌山生活支援センター)
- ②-4 とりもどそう家族の健康～精神保健福祉士の家族への関わりをみつめなおす～
○河原 佳美・田中 哲志・谷元 広樹 (嶺南病院)
- ②-5 ACTにおける家族支援
○佐藤 純 (京都ノートルダム女子大学)

I-③ 権利を護る仕組みと実践から (定員130名)

- ③－1 地域生活支援ネットワークにおける精神保健福祉士の役割
○坂田 理恵・松尾 貢治（障害者相談支援事業所潮）
- ③－2 認定成年後見人ネットワーククローバーの取り組みと「成年後見制度に関する横浜宣言」
○長谷川 千種（昭和大学附属烏山病院）、今村 浩司（小倉蒲生病院）、
岩崎 香（早稲田大学）、田村 綾子（日本精神保健福祉士協会）、
齋藤 敏靖（東京国際大学）、安部 裕一（北九州成年後見センター）、
岩崎 弘幸（横浜病院）、毛塚 和英（桜ヶ丘記念病院）、古畑 英雄（日本
社会福祉士会権利擁護センターぱあとなあ）
- ③－3 法人後見と多職種協働からの視点～北九州成年後見センターの活動から～
○今村 浩司（小倉蒲生病院）、安部 裕一（北九州成年後見センター）
- ③－4 精神科ソーシャルワークにおけるアドボカシー実践の課題
～所属機関内アドボカシーの限界性と市民協働型アドボカシー～
○吉池 毅志（大阪人間科学大学）、壬生 明日香（広島国際大学）、
上坂 紗絵子（大阪精神医療人権センター）
- ③－5 民間権利擁護機関の活動の実際
～認定NPO法人大阪精神医療人権センターの実践から～
○上坂 紗絵子（大阪精神医療人権センター）、壬生 明日香（広島国際大学）、
吉池 毅志（大阪人間科学大学）
- ③－6 「入院中の精神障害者の権利」についての精神保健福祉士のとらえ方に関する一考察
～認定NPO法人大阪精神医療人権センターによるアンケート調査から～
○壬生 明日香（広島国際大学）、上坂 紗絵子（大阪精神医療人権センター）、
吉池 毅志（大阪人間科学大学）
- ③－7 精神障害者の生活支援と権利擁護に関する普及啓発への取り組み
○木津 英昭（障害者支援施設こころの風元気村）、岩崎 香（早稲田大学）、
伊藤 亜希子（東京武蔵野病院）、金成 透（所沢慈光病院）、高村 智子（サ
ンライフたきの里）、田波 裕美（横浜丘の上病院）、三木 良子（東洋大学）、
中川 さゆり（地域生活支援センタープラザ）、壬生 明日香（広島国際大学）、
宮崎 まさ江（長野大学）

I-④ 生活の場へ出向く訪問型の支援（定員200名）

- ④－1 ACTの生活支援～臨床倫理の観点から～
○梁田 英麿・佐藤 美穂・柴田 知帆・笠原 陽子
（東北福祉大学せんだんホスピタル）
- ④－2 ACTにおけるチームワーク修復と支援改善のプロセス研究
○稲山 耕平（大和診療所／川崎医療福祉大学大学院）、長崎 和則（川崎医療
福祉大学）
- ④－3 クライエントの「豊かな生活」によりそう支援
～訪問看護専従の精神保健福祉士の視点とは～
○原田 陽子（三方原病院）

- ④-4 山間の一人暮らしをどう支えるか～孤立したAさんの生活を振り返る～
○川口 夏生・長島 隆・生駒 芳久（和歌山県立こころの医療センター）
- ④-5 精神障害者ホームヘルプサービスの現状と課題
～ヘルパーへのアンケート調査から～
○阪田 憲二郎（神戸学院大学）、河野 康政（かもめクリニック）
- ④-6 医療機関の精神保健福祉士が行う訪問支援の現状と課題
○宮川 恵美・石倉 直美・田上 和美・門田 晋（谷野呉山病院）、
宮部 真弥子（脳と心の総合健康センター）

I-⑤ 耕そう！創ろう！豊かな地域精神保健福祉（定員130名）

- ⑤-1 イタリアの地域精神保健が抱える課題
○中嶋 裕子（福山平成大学）
- ⑤-2 地域自立支援協議会の活動報告～神戸市西区における取組み～
○橋本 祐子・田村 真実子・佐川 芳朗・郷原 真知子・道川内 由香・
藤井 菜穂子・北代 彩・谷村 敦史（関西青少年サナトリウム）、
伊藤 智美（にし障害者地域生活支援センター）
- ⑤-3 警察官通報件数の減少からみた和歌山市保健所精神保健福祉実践の一次予防及び二次予防
○川乗 玲子・林 実香・原見 美帆・松山 宏子・松岡 信一郎（和歌山市保健所）
- ⑤-4 地域支援を通して見えてきた連携の難しさ
～主体性を尊重するために地域性・専門性を活かす～
○藤本 麻那・西島 由恵（加東市障害者生活支援センター）
- ⑤-5 認知症疾患医療センター連携担当者の役割と課題
○山本 めぐみ（浅香山病院）
- ⑤-6 精神科病院の地域連携の意義と課題
○松本 直樹・鈴木 慎治・川口 真知子・中村 江美子・木下 文彦（井之頭病院）
- ⑤-7 医療と地域の連携について
～半田市の若手専門職の思いと提言～
○中野 直哉（半田市役所）、井上 将志（一ノ草病院）、徳山 勝・加藤 恵
（半田市障がい者相談支援センター）

I-⑥ さまざまな支援における精神保健福祉士の役割（定員90名）

- ⑥-1 精神科診療所における精神保健福祉士の有用性について
～精神科診療所に通院されている方（ユーザー）に対する調査より～
○澁谷 庸起子（武者クリニック）、安保 寛明（岩手晴和病院）、石黒 亨（東北福祉大学せんだんホスピタル）、小野 正生（仙台保護観察所）、
福井 由美子・渡部 裕一（原クリニック）

- ⑥-2 重度認知症デイケアにおける精神保健福祉士のかかわり
○城間 直也 (新垣病院)
- ⑥-3 精神保健福祉に関わるということ
○横山 理恵 (介護老人福祉施設三朝温泉三喜苑)
- ⑥-4 精神障害者が語る「暮らしと障害年金」～精神保健福祉士の専門性に引き寄せて～
○青木 聖久 (日本福祉大学)
- ⑥-5 地域活動支援センターで心理教育を精神保健福祉士が行う意義
○岩橋 千紗子・西 利起・中野 千世 (地域活動支援センター櫻)
- ⑥-6 障害者支援施設における環境づくり
～環境支援指針 (PEAP : Professional Environmental Assessment Protocol) を使った取り組み～
○鈴木 まみ・木津 英昭・山里 美由紀・清宮 厚 (障害者支援施設こころの風元気村)、岩崎 香 (早稲田大学)
- ⑥-7 障害受容の過程における精神保健福祉士の役割とは～インタビュー調査を通して～
○古久保 有香 (松本診療所)

分科会Ⅱ

6月11日(土) 12:45～15:15 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

Ⅱ-① スクールソーシャルワーク等教育の現場から (定員90名)

- ①-1 スクールソーシャルワークにおける不登校支援事例の実践報告
○池田 恵子 (入間市教育委員会)
- ①-2 スクールソーシャルワーク実践における精神保健福祉士の業務とアイデンティティ
○大西 良 (久留米大学)
- ①-3 スクールソーシャルワーク (SSW) 実践報告③
～島田市における学校支援の実際と市教委のSSW推進～
○熊本 淳 (静岡県教育委員会)、山城 厚生 (静岡福祉大学)、池谷 英人 (島田市教育委員会)
- ①-4 スクールソーシャルワーカーにおける教職員メンタルヘルス支援の実践
～スクールソーシャルワーク教育課程におけるメンタルヘルス支援の学習の提案～
○米川 和雄 (帝京平成大学)、大原 朋子 (久留米大学大学院)、
荒川 裕美子・大西 良 (久留米大学)、染谷 涼子 (エンパワーメント)
- ①-5 精神保健福祉領域における福祉教育の可能性～『ここ輪』の実践より～
○山田 将人・奈良部 清香・相川 章子・田中 光太郎・升 美瑠子・
菅 雅昭・木下 優輔 (福祉教育について考える会—こころの輪—(ここ輪))、
助川 征雄 (聖学院大学)、廣江 仁 (障害福祉サービス事業所 F&Y 境港)

Ⅱ-② ピアサポートの支援と当事者からの学び (定員90名)

- ②-1 当事者活動展開地域における住民の精神障がい(者)に対する意識の実態
～自由記述回答の分析結果から～
○種田 綾乃(筑波大学大学院)
- ②-2 当事者が精神保健福祉士に望むかわりを探る参加型アクションリサーチへの予備研究
○飛田 義幸(あすなろの家)、八重田 淳(筑波大学)、飛田 智恵子(支援センターもっく)
- ②-3 地域精神保健福祉機関におけるピアサポートの具体的実践に関する一考察
○金 文美(大阪保健福祉専門学校)
- ②-4 ACTのスキル～レジリアンスを育む～
○三品 桂子(花園大学/京都メンタルケア・アクション)
- ②-5 WRAP作成後のリカバリー～WRAPファシリテーターへのインタビュー～
○寺澤 法弘(WRAP名古屋/日本福祉大学)
- ②-6 北米・ピアスペシャリストの認定制度化とその影響
～5州におけるインタビュー調査を通して～
○相川 章子(聖学院大学)

Ⅱ-③ 精神保健福祉士の養成教育とスーパービジョン (定員130名)

- ③-1 精神保健福祉現場実習の基礎研究
～実習事後指導における質的研究法を取り入れた取り組みを通して②～
○柴田 覚(東京福祉保育専門学校)
- ③-2 精神保健福祉援助実習における巡回指導・帰校指導の活用
～山口県における実習指導者アンケートをもとに～
○丸田 育美(宇部フロンティア大学)
- ③-3 精神保健福祉士養成における教育～業務実態を中心に～
○古川 奨(札幌心療福祉専門学校)
- ③-4 グループスーパービジョンの効果を振り返る
○鈴木 詩子・綿貫 祐子・小林 香織・池須 瑞紀(こころのクリニックなります)
松永 実千代・宮井 篤・佐瀬 義史(こころのクリニック高島平)、
熊野 智子(成増厚生病院)、大塚 淳子(日本精神保健福祉士協会)
- ③-5 聴覚障害者福祉領域でのスーパービジョンの試みと課題
○高山 亨太(金町学園)
- ③-6 ACTスタッフの研修とスーパービジョン
○岡田 まり(立命館大学/京都メンタルケア・アクション)、
三品 桂子(花園大学/京都メンタルケア・アクション)、
佐藤 純(京都ノートルダム女子大学/京都メンタルケア・アクション)

- ③-7 精神保健福祉士養成課程における学生の主観的困難さに関する研究
～心理学科および社会福祉学専攻学生へのインタビュー調査を通じて～
○末田 邦子（金城学院大学）

Ⅱ-④ 促進しよう！地域移行支援（定員200名）

- ④-1 広島県三原市における精神障害者の地域移行と生活支援に必要な社会資源
～障害者を地域で支える体制づくりモデル事業の活用を通して～
○長谷部 隆一（地域生活支援センターさ・ポート）
- ④-2 精神障害者地域移行支援特別対策事業におけるピアサポーターの役割と課題
○松本 真由美（北星学園大学）
- ④-3 グループホームだからできる退院支援～2年半の関わりからみえてきたもの～
○井藁 元子（ホームみらい）、新 佐智子（ホームゆうゆう）、
三ヶ田 貢祐（ホームとまと）、原田 雅美・高松 信（たかつ生活支援セン
ターまんまる）
- ④-4 通過型グループホーム・ケアホームにおける
ダブルマネージャーシステムによる単身生活移行実践の報告
○会田 真一・河野 文美（グループホーム・ケアホーム遊牧舎）、吉澤 浩一
（地域生活体験室遊牧舎）、金川 洋輔（サポートセンターきぬた）
- ④-5 地域生活移行支援システムを考える～アパート退院アンケート調査から～
○古市 尚志・小下 ちえ（浅香山病院）

Ⅱ-⑤ 働きたい、働き続けたいを支援する（定員130名）

- ⑤-1 就労支援事業におけるソーシャルワーク関係～就労移行支援事業の現場から～
○森 克彦・田坂 悦子・益 絢子・谷奥 大地・藤村 ゆかり・鑑光 さおり
（アンダンテ就労ステーション）
- ⑤-2 「連携力」を活かした就労支援の取り組み
○岩崎 諭史・高橋 治子（ぴあ三浦）
- ⑤-3 社会福祉法人が行うジョブコーチ支援の展開
～障害者の委託訓練事業修了生の就労支援における関わりからの考察～
○向井 規子・上村 啓子・梅沢 信吾・青木 保子（京都市朱雀工房）、
中島 康典（ワークステーションかれん工房）
- ⑤-4 ACTにおける生活支援～“送りたい生活”を目指して～
○佐々木 育実・新居 昭紀・上久保 真理子・杉浦 宗徳（ぴあクリニック）
- ⑤-5 会社内のケースワーク～管理職との連携ケースからの実践報告～
○金 恵里子（ジャパンEAPシステムズ）

Ⅱ-⑥ 多様な領域における支援 (定員90名)

- ⑥-1 離島のアルコール依存症～奄美におけるARPの実践を通じて～
○西牟田 智子・有村 美幸・白木 邦明・庵地 雄太 (奄美病院)、
安田 公美子 (地域活動支援センターゆらい)
- ⑥-2 相談支援者を対象としたアクション研修の実践から
～他の福祉分野へのアプローチを中心に～
○田中 和彦 (愛知みずほ大学)
- ⑥-3 ソーシャルワーカーがアルコール依存をもつ人に感じる「困難」の構造
○畚野 真木 (安東医院/京都府立大学大学院)、山野 尚美 (京都府立大学)、
安東 龍雄 (安東医院)
- ⑥-4 自殺予防における精神保健福祉士と司法書士の連携について
○吉野 比呂子 (国立精神・神経医療研究センター)、石川 到覚 (大正大学)、
石田 賢哉 (青森県立保健大学)、岩崎 香 (早稲田大学)、大塚 淳子・
木太 直人 (日本精神保健福祉士協会)
- ⑥-5 ひきこもり支援におけるケアマネジメント・プログラム導入の検討
○西元 祥雄 (三原病院)、金子 努 (県立広島大学)
- ⑥-6 刑務所における精神保健福祉士の支援の現状と課題
～特に満期出所者を対象とした取り組みの考察～
○宮沢 和志 (名古屋医専)
- ⑥-7 難民支援における精神保健福祉士の課題
～支援者へのインタビュー調査からの考察～
○三木 良子 (東洋大学)

ポスターセッション

6月11日(土) 12:45～15:15 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

- ① 多職種連携による地域移行支援～長期入院患者の希望の実現を目指して～
○小野 真由美・中田 弥生・藤原 健太郎 (有馬高原病院)
- ② 当事者の声の発信基地！ラジオ番組を使った8年間の活動報告
○高松 信・原田 雅美 (生活支援センターまんまる)、成田 大治 (グループホームゆうゆう)、井藁 元子 (グループホームみらい)、光本 一郎 (グループホーム青和荘)
- ③ 生活訓練施設守牧の13年間の活動を振り返る
○森 謙次 (守山荘病院)
- ④ 診療所デイケア利用者の社会参加に向けた精神保健福祉士の支援について
～定着期における長期利用者に着目して～

○山本 美紀子 (きたまちクリニック)、宇野 由紀子 (元・清心会メンタルクリニック)、栄 セツコ (桃山学院大学)

⑤ 精神保健福祉士の心理的アプローチ
～カウンセリング・ソーシャルワークの支援展開～
○山田 妙韶 (大阪女子短期大学)

⑥ 精神保健福祉士の専門性と価値について
～多機能分化する病院P S Wの役割に着目して～
○中池 穂高 (山本病院)、鈴木 和雄 (堺市役所)、栄 セツコ (桃山学院大学)

⑦ ワークシートを用いた実習教育実践～思考の枠組みの整理に着目して～
○中島 玲子・杉本 浩章 (日本福祉大学)、田中 和彦 (愛知みずほ大学)

⑧ メイクセラピー基礎講座におけるセラピスト養成の試み
○岩崎 香 (早稲田大学)、寿 マリコ (日本メイクセラピー協会)、松永 実千代 (こころのクリニック高島平)、菊池 景子・沖野 孝栄 (愛誠病院)

※演題・所属等については2011年2月22日現在のものを記載してあります。

参加にあたって

- ・大会・学術集会は、1日ごとに会場が変わります。本冊子の裏表紙とP19に地図を掲載していますので、ご確認くださいませようお願いいたします。
- ・大会・学術集会では、他の参加者の方々と情報交換を行う場面を多く見かけます。お名刺やご所属のパンフレット等をご持参してご参加されますと交流される際、役立っているようでした。
- ・会場内での録画・録音・写真撮影は、大会・学術集会事務局の記録者以外はご遠慮ください。
- ・会場内では、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定いただき通話はお控えください。他の参加者へご配慮くださいますようお願いいたします。
- ・和歌山運営委員会では「事前に知って得する和歌山情報」や「大会当日ニュース」を、インターネットホームページにて公開しています。ぜひご覧ください。

☆ <http://psw47.com> (パソコン、携帯電話共通) にアクセスして、リンクから和歌山運営委員会をクリック、または日本精神保健福祉士協会ホームページ(<http://www.japsw.or.jp>) の和歌山大会ページから、和歌山情報をクリックしてください。

携帯電話はこちら→



主催・協力・後援機関一覧

【主催】 (社) 日本精神保健福祉士協会
【協力】 (社) 日本精神保健福祉士協会和歌山県支部
和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会

【後援】(予定含む)

厚生労働省／和歌山県／和歌山市／(社) 日本精神科病院協会／(社) 日本精神神経科診療所協会／(社) 日本医師会／(社) 日本精神科看護技術協会／(社) 日本看護協会／(財) 日本精神衛生会／日本病院・地域精神医学会／(社) 日本作業療法士協会／(社) 日本理学療法士協会／(一般社) 日本言語聴覚士協会／日本障害者協議会／日本障害フォーラム／(財) 日本障害者リハビリテーション協会／(NPO) 障害者インターナショナル日本会議／(NPO) 全国精神障害者地域生活支援協議会／(NPO) 全国精神障害者団体連合会／(NPO) 全国精神保健福祉会連合会／(NPO) 地域精神保健福祉機構・コンボ／(社) 日本てんかん協会／(一般社) 日本発達障害ネットワーク／きょうされん／(社福) 全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会／全国救護施設協議会／全国精神保健福祉相談員会／(NPO) 日本ソーシャルワーカー協会／(社) 日本社会福祉士会／(社) 日本医療社会事業協会／日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会／日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会／(社) 日本介護福祉士会／(NPO) 日本相談支援専門員協会／(一般社) 日本精神保健福祉士養成校協会／ソーシャルケアサービス従事者研究協議会／(社) 日本社会福祉教育学校連盟／(社) 日本社会福祉士養成校協会／(社) 日本精神神経学会／(一般社) 日本総合病院精神医学会／(社) 全国自治体病院協議会／全国保健・医療・福祉心理職能協会／日本児童青年精神医学会／日本集団精神療法学会／日本精神保健看護学会／日本臨床心理学会／日本デイケア学会／国立精神医療施設長協議会／全国精神保健福祉センター長会／全国保健所長会／全国衛生部長会／(公益社) 認知症の人と家族の会／(公益社) 日本認知症グループホーム協会／(社) 全国老人保健施設協会／(公益社) 全国老人福祉施設協議会／SST普及協会／(社) 日本精神保健福祉連盟／日本精神障害者リハビリテーション学会／日本職業リハビリテーション学会／(NPO) 日本ボランティアコーディネーター協会／(社福) 全日本手をつなぐ育成会／(財) 日本知的障害者福祉協会／(社福) 中央共同募金会／(更) 日本更生保護協会／(社) 成年後見センター・リーガルサポート／日本司法書士会連合会／(財) 社会福祉振興・試験センター／(株) 福祉新聞社／和歌山県精神科病院協会／和歌山精神神経科診療所協会／(社) 和歌山県医師会／和歌山県精神保健福祉協会／(社) 和歌山県看護協会／(社福) 和歌山県社会福祉協議会／(一般社) 和歌山県社会福祉士会／和歌山医療社会事業協会／和歌山県作業療法士会／和歌山県臨床心理士会／和歌山県介護福祉士会／(NPO) 和歌山県介護支援専門員協会／和歌山県精神障害者団体連合会(紀の国会)／(NPO) 和歌山県精神保健福祉家族会連合会／(NPO) 和歌山県断酒連合会／和歌山県司法書士会／(社福) 和歌山いのちの電話協会／日本放送協会和歌山放送局／(株) テレビ和歌山／(株) 和歌山放送／毎日新聞社和歌山支局／(株) 読売新聞大阪本社和歌山支局／(株) 朝日新聞社和歌山総局／(株) 産経新聞和歌山支局／(株) 和歌山新報社／(株) ニュース和歌山／(株) 紀伊民報
(順不同)

お申し込みのご案内

歓迎のご挨拶

来る6月9日(木)～6月11日(土)の3日間、和歌山市において、「第47回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第10回日本精神保健福祉士学会学術集会」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。本大会が開催されるにあたり皆様方のご参加、宿泊、お弁当等のお世話を弊社にご用命賜り厚く御礼申し上げます。本大会のご成功をお祈りすることはもとより、社員一同すべての面において万全の準備のもと、皆様方に心からご満足いただけますよう一生懸命お世話させていただき所存でございます。心より皆様方のお越しをお待ち申し上げます。

トップツアー株式会社和歌山支店 支店長 山垣 淳

■参加費

区分	3日間参加		選択参加		
	プレ企画+大会・学術集会		プレ企画のみ	大会・学術集会のみ	
	早割(★1)	通常		早割(★1)	通常
構成員(★2)	10,000円	12,000円	3,000円	8,000円	10,000円
非構成員	14,000円	16,000円	3,000円	12,000円	14,000円
学生(★3)	6,000円	7,000円	2,000円	5,000円	6,000円

オプション	
懇親会	7,500円
お弁当	500円~800円
宿泊・ツアー	選択内容による

登録代行手数料(★4)
525円

- ★1) 「早割参加費」はインターネット・FAXともに5月6日(金)までの申込が対象です。
- ★2) 「構成員」とは社団法人日本精神保健福祉士協会に入会している方のことです。
- ★3) 構成員の方は、「学生」区分での参加はできません。
- ★4) 「登録代行手数料」は、参加者への通信費や発送費などの経費であり、大会主催者事務局からの依頼に基づきトップツアー(株)和歌山支店が代行収受するものです。

■**ご宿泊**（トップツアー(株)和歌山支店が企画・実施する募集型企画旅行です）

和歌山市内の宿泊施設をご用意しております。

○宿泊日：2011年6月8日（水）・9日（木）・10日（金）・11日（土）

○宿泊条件：1泊朝食付、サービス料・税金込み（一部、軽食のホテルもございます）

施設 記号★	宿泊施設名	部屋タイプ・宿泊料金				アクセス
		シングル	申込記号	ツイン	申込記号	
①	ホテルグランヴィ ア和歌山	9,600円	S-1	9,000円	T-1	JR和歌山駅中央口隣接 ビッグ愛へはバスにて4分(徒歩15分) 市民会館へはバスにて15分
②	和歌山アーバン ホテル	8,000円	S-2	7,000円	T-2	JR和歌山駅東口より徒歩1分 ビッグ愛へはバスにて4分(徒歩15分) 市民会館へはバスにて15分
③	東横インJR和歌 山	6,000円	S-3	5,000円	T-3	JR和歌山駅東口より徒歩1分 ビッグ愛へはバスにて4分(徒歩15分) 市民会館へはバスにて15分
④	シティinn 和歌山	6,000円	S-4	5,000円	T-4	JR和歌山駅中央口隣接 ビッグ愛へはバスにて4分(徒歩15分) 市民会館へはバスにて15分
⑤	ホテルランドマー ク和歌山	7,500円	S-5	6,000円	T-5	JR和歌山駅より徒歩15分 ビッグ愛内にホテル部分あり 市民会館へはバスにて20分
⑥	ダイワロイネット ホテル和歌山	9,600円	S-6	8,200円	T-6	JR和歌山駅より路線バスにて10分 ビッグ愛へはバスにて15分 市民会館へは徒歩10分
⑦	ホテルアバローム 紀の国	8,000円	S-7	7,300円	T-7	JR和歌山駅より路線バスにて10分 ビッグ愛へはバスにて15分 市民会館へは徒歩13分
⑧	ワカヤマ第1富士 ホテル	6,000円	S-8	5,000円	T-8	JR和歌山駅より路線バスで15分 和歌山ビッグ愛へはバスで20分 市民会館へは徒歩5分

★「施設記号」は、裏表紙の地図でご確認いただけます。

※申込み受付順に宿泊を手配いたします。ご希望のホテルが満室の場合は、他の施設・クラスへ変更となります。ご宿泊いただくホテルは、参加券に同封の『宿泊券』にてお知らせいたしますのでご確認ください。

■**オプションツアー**（トップツアー(株)和歌山支店が企画・実施する募集型企画旅行です）

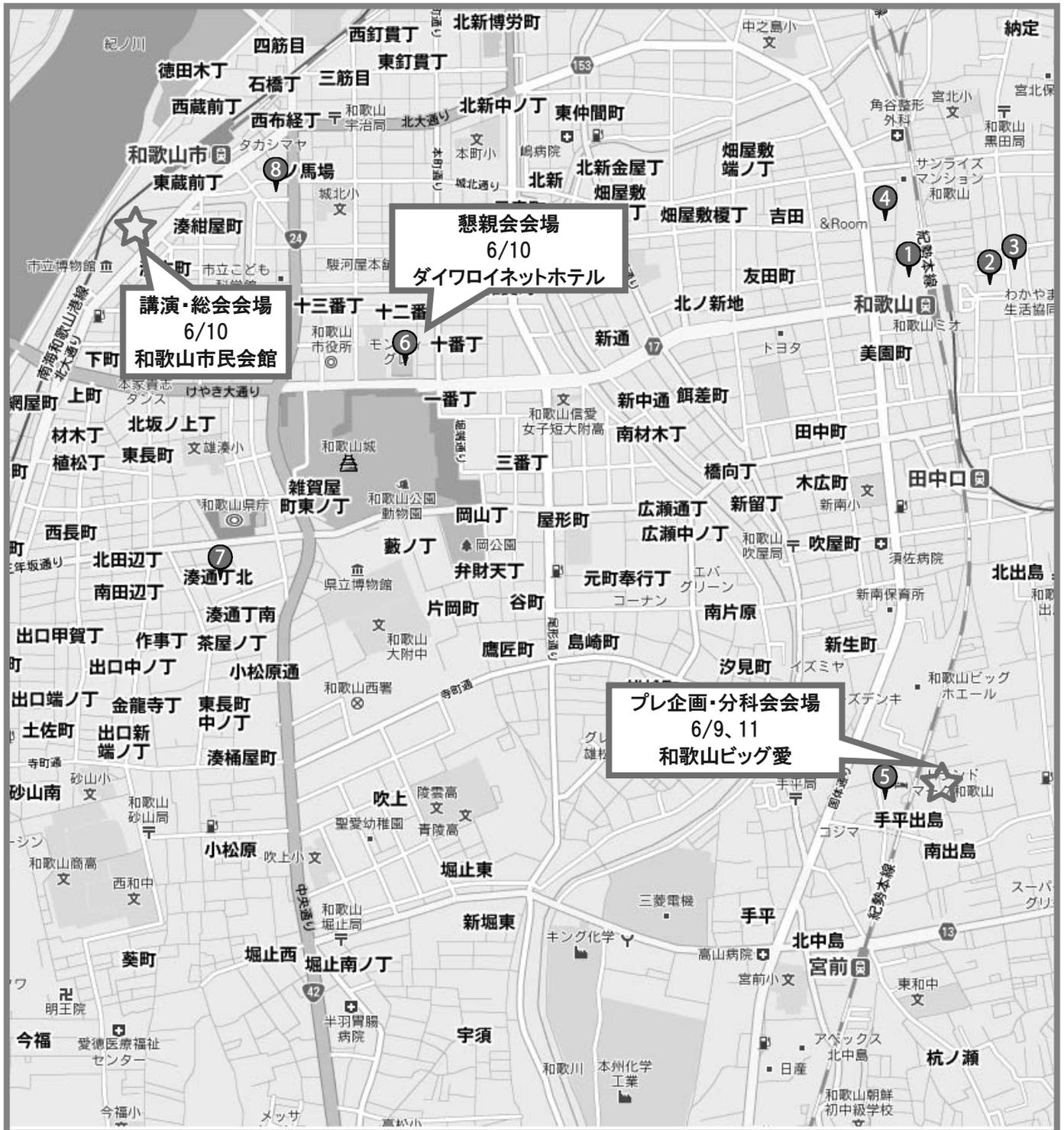
○設定日：2011年6月12日（日） ○参加費：お一人様 8,000円【昼食・入浴券付】

ご旅行行程
◆全行程貸切バスにて◆ JR 和歌山駅（8:30頃出発）・・・中野酒造【梅酒工場と庭園見学】・・・白浜とれとれ市場【昼食】・・・南紀白浜温泉「とれとれの湯」【入浴】・・・JR 和歌山駅（17:00頃到着）

【定期観光バスの利用条件】

- ・**最小催行人員は20名です。**参加者が20名より下回る場合は催行中止となります。
- ・添乗員が同行致します。
- ・天候その他の事情で実施困難な場合は、旅行催行を中止することがございます。
- ・旅行行程は、交通事情など運行会社の管理できない事由により変更になる場合がございます。

大会・学術集会会場および宿泊施設(和歌山市内地図)



① ホテルグランヴィア和歌山	② 和歌山アーバンホテル	③ 東横インJR和歌山駅東口
④ シティinn 和歌山	⑤ ホテルランドマーク和歌山	⑥ ダイワロイネットホテル和歌山
⑦ ホテルアバローム紀の国	⑧ ワカヤマ第1富士ホテル	

■ご予約弁当（旅行契約ではありません）

会場付近にはお食事場所が少ないため、お申込み受付順によるご予約弁当をご用意しております（当日販売なし）。限定数に達した場合は調整させていただく場合がございます。ご了承ください。

【6月10日（金）販売分】

申込記号	お弁当	金額
ア	“キッチンつむぎ”の「和歌山うめどり丼」+お茶(ペットボトル) ※紀州うめどり・和歌山産釜揚げしらす・南高梅の梅肉を使用 ※限定 100 食	500 円
イ	“キッチンつむぎ”の「かつとじ弁当」+お茶(ペットボトル) ※限定 100 食	500 円
ウ	“ひまわり作業所”の「からあげ弁当」+お茶(ペットボトル) ※限定 50 食	500 円
エ	“ひかり作業所”の「煮込みハンバーグ弁当」+お茶(ペットボトル) ※限定 100 食	500 円
キ	「大会オリジナル弁当(和風)」+お茶(紙パック) ※限定数無し	800 円

【6月11日（土）販売分】

申込記号	お弁当	金額
ア	“キッチンつむぎ”の「和歌山うめどり丼」+お茶(ペットボトル) ※紀州うめどり・和歌山産釜揚げしらす・南高梅の梅肉を使用 ※限定 100 食	500 円
オ	“キッチンつむぎ”の「肉団子の甘酢あんかけ弁当」 +お茶(ペットボトル) ※限定 100 食	500 円
カ	“ひまわり作業所”の「とんかつ弁当」+お茶(ペットボトル) ※限定 150 食	500 円
ク	「大会オリジナル弁当(洋風)」+お茶(紙パック) ※限定数無し	800 円

申込記号【ア】



和歌山うめどり丼

申込記号【イ】



かつとじ弁当

申込記号【ウ】



からあげ弁当

申込記号【エ】



煮込みハンバーグ弁当

申込記号【オ】



肉団子の
甘酢あんかけ弁当

申込記号【カ】



とんかつ弁当

申込記号【キ】



大会オリジナル弁当
(和風)

申込記号【ク】



大会オリジナル弁当
(洋風)

※お弁当のカラー写真は大会ホームページの和歌山情報でご覧になれます。

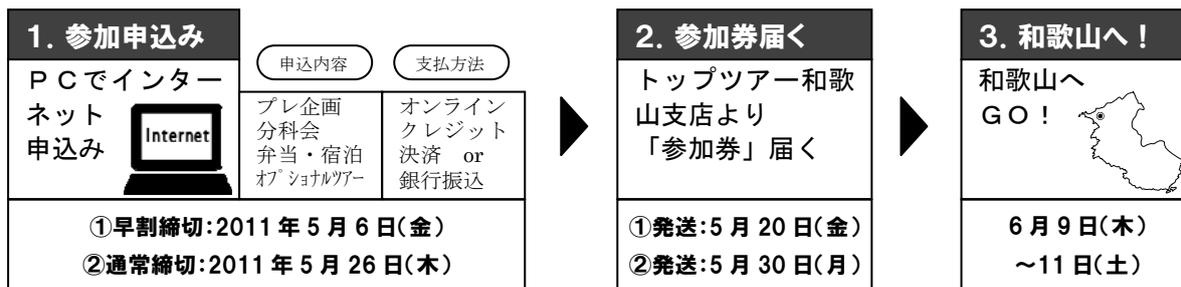
■お申込みの流れ

お申込みは、①インターネット②FAXの2種からお選びいただけます。

◆インターネット申込み

インターネットで申込みと…オンライン決済が利用できる！個人専用IDと個人パスワードで、いつでも予約内容の確認ができる！おススメです！！

<http://www.toptour.co.jp/conv/3518/japsw2011/>



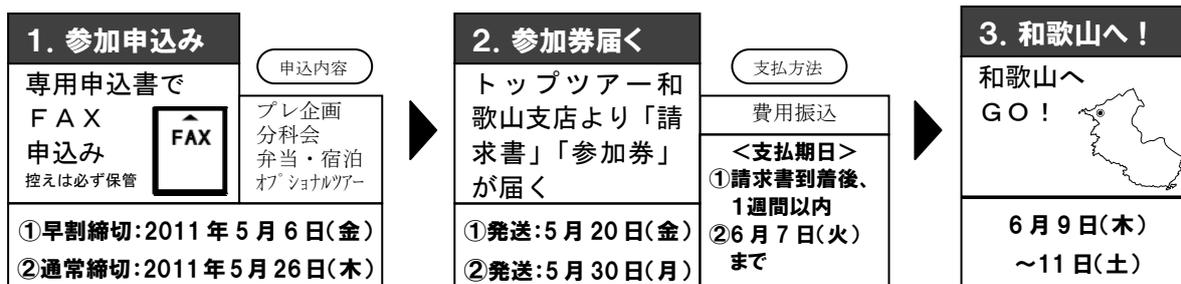
指定URLにアクセスしていただき、申込の流れに沿ってお手続きください。プレ企画、分科会、お弁当、宿泊、オプションツアーのお申込みと、お支払い手続きが行えます。

早割価格で参加できる申込締切は、5月6日(金)です。その後、トップツアー(株)和歌山支店より5月20日(金)に、参加券等が発送されます。

通常価格で事前申込みいただける締切は、5月26日(木)です。その後、トップツアー(株)和歌山支店より5月30日(月)に参加券等が発送されます。

書類をご確認いただき、和歌山へお越しく下さい。ご不明の点はトップツアー(株)和歌山支店宛にお問合わせください。

◆FAX申込み



専用申込書に必要事項をご記入のうえ、トップツアー和歌山支店へFAXにてお申込みください。ご希望のプレ企画、分科会の選択は、P4に掲載されているプログラムのアミ掛け白字(例 **Pre I**)をご記入ください。ご希望のプログラムが定員に達していた場合は、調整させていただくこともありますのでご了承ください。

早割価格で参加できる申込締切は、5月6日(金)です。その後、同社より5月20日(金)に、請求書・参加券等が発送されます。書類が届きましてから1週間以内に所定の振込用紙にて請求費用をお支払いください。

通常価格で事前申込みいただける締切は、5月26日(木)です。その後、トップツアー(株)和歌山支店より5月30日(月)に請求書・参加券等が発送されます。書類が届きましたら6月7日(火)までに所定の振込用紙にて請求費用をお支払いください。

ご不明な点はトップツアー(株)和歌山支店宛にお問い合わせください。

5月27日(金)以降の事前申込受付はありません。当日受付へお越しく下さい。

■変更・取消のご案内（変更・取消しの手続きは、申込みと同じ方法で行ってください）

◆インターネットでのお申込みの場合

申込みの時に登録した①メールアドレス、②パスワードをご用意のうえ、お申込みサイトからログインしてご希望のお手続きをなさってください。

◆FAXでのお申込みの場合

専用申込用紙にご希望の変更・取消を書き加え、改めてトップツアーへFAXをお送りください。取消のご連絡がなければ、お振り込みがなくても予約は取り消し完了になりません。

□参加費の取消・変更手数料

取消日	お申込～5/31	6/1～当日	無連絡
大会・学会(6/10・11)	無料		100%
プレ企画(6/9)	無料		100%
懇親会(6/10)	無料		100%
お弁当代	無料		100%
オプションツアー(6/12)	無料		100%

□宿泊の取消・変更手数料

取消日	15日前	14～8日前	7～2日前	前日	宿泊当日	無連絡
宿泊料	無料	20%	30%	40%	50%	100%

例) 6月9・10日の宿泊予約を6月8日に取消の場合、9日分40%、10日分30%の取消料が発生。

取消の基準日は、(株)トップツアーの営業日・営業時間内の通信を有効といたします。

取消後の返金につきましては、大会・学術集会終了後、上記の申込取消時期に応じた取消料及び登録代行手数料（525円）、振込手数料を差し引き、返金時にお伺いする振込先口座へ送金いたします。

返金無料の期間であっても、インターネットからの申込により費用振込を済まされている場合は、返金に係る事務手続きが発生するため、登録代行手数料（525円）・振込手数料をご負担いただくことになります。

大会・学術集会参加費をお支払いされた方で、当日欠席された場合、大会終了後に事務局より抄録集をお送りいたします。事務整理上、多少の日数がかかります。なお、ご連絡なく当日欠席された場合は全額ご請求させていただきますので予めご了承ください。

ご旅行条件書

●募集型企画旅行契約

本大会の宿泊はトップツアーが旅行企画・実施するものであり、お申込みいただくお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。詳しい旅行条件を説明した書面を送付いたしますのでご参照ください。

契約の内容・条件につきましては、お申込み前に当社の店頭またはWEBサイトでもご確認いただけます。

※大会・学術集会は、(社)日本精神保健福祉士協会の主催行事です。

※昼食は旅行契約ではありません。

●個人情報の取扱いについて

トップツアー（株）は、お申込みの際にご提供いただいた個人情報につきまして、お客様との連絡のためや、輸送・宿泊等の各関係機関の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。また、大会主催者事務局に名簿作成等の目的により提供いたします。

上記の他、当社の個人情報の取扱いに関する方針につきましては、当社の店頭またはWEBサイトでご確認ください。

【旅行企画・実施】

観光庁長官登録旅行業第38号 / (社)日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

トップツアー株式会社和歌山支店 大会運営事務局

TEL: 073-425-3211 FAX: 073-424-1683

〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町4-90 山十ビル3階

【営業時間】月曜～金曜：9:20～18:00 土曜日：9:20～12:40 日曜・祝日：休み

担当者：山本 総合旅行業務取扱管理者：山垣 淳



旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明の点がありましたら、遠慮なく旅行業務取扱管理者にお尋ねください。

FAX専用

第47回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第10回日本精神保健福祉士学会学術集会参加・宿泊等申込書

旅行手配等の為に必要な範囲内での運送・宿泊機関等へのデータ提供について同意の上、申込みます。

各種利用券 ・請求書等 送付先	申込代表者 氏名	所属先		TEL	申込日	
	〒	〒	〒	〒	〒	〒
ご住所	※ビル・マンション名は略さずご記入ください。		〒	〒	〒	〒
	〒		〒	〒	〒	〒

※参加プログラムはP.2を、お弁当・宿泊等はP.18以降をご参照ください。

NO	ふりがな 参加者氏名	参加区分 構成員は委員番号を 必ず記入	参加 形態	プレ 企画	分科会		早割 or 通常	懇親会 6/10	登録代 行手数料	お弁当			宿泊			オプショ ナルツ アー 6/12	手話 通訳 の希望	費用合計	備考欄 ツインの場合の 同室希望者等
					I	II				6/10	6/11	6/8 前日	6/9 1日目	6/10 2日目	6/11 3日目				
例	わかやま たくろう 和歌山 太郎 (男)・女	<input checked="" type="checkbox"/> 日本協会構成員 (99 - 009999) <input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input checked="" type="checkbox"/> プレ+ 大会 <input type="checkbox"/> プレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	<input type="checkbox"/> Pre I <input checked="" type="checkbox"/> Pre II <input type="checkbox"/> Pre III <input type="checkbox"/> Pre IV <input checked="" type="checkbox"/> Pre V	第1希望 I-① 第2希望 I-④	第1希望 II-② 第2希望 II-⑤	<input checked="" type="checkbox"/> 早割 10,000円 <input type="checkbox"/> 通常	○	525	ア	ク	T-1	T-1	T-1	○	<input checked="" type="checkbox"/>	¥63,325	紀州次郎	
1	男・女	<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 () <input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> プレ+ 大会 <input type="checkbox"/> プレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	<input type="checkbox"/> Pre I <input type="checkbox"/> Pre II <input type="checkbox"/> Pre III <input type="checkbox"/> Pre IV <input type="checkbox"/> Pre V	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	<input type="checkbox"/> 早割 <input type="checkbox"/> 通常		525							<input type="checkbox"/>			
2	男・女	<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 () <input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> プレ+ 大会 <input type="checkbox"/> プレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	<input type="checkbox"/> Pre I <input type="checkbox"/> Pre II <input type="checkbox"/> Pre III <input type="checkbox"/> Pre IV <input type="checkbox"/> Pre V	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	<input type="checkbox"/> 早割 <input type="checkbox"/> 通常		525							<input type="checkbox"/>			
3	男・女	<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 () <input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> プレ+ 大会 <input type="checkbox"/> プレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	<input type="checkbox"/> Pre I <input type="checkbox"/> Pre II <input type="checkbox"/> Pre III <input type="checkbox"/> Pre IV <input type="checkbox"/> Pre V	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	<input type="checkbox"/> 早割 <input type="checkbox"/> 通常		525							<input type="checkbox"/>			
4	男・女	<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 () <input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> プレ+ 大会 <input type="checkbox"/> プレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	<input type="checkbox"/> Pre I <input type="checkbox"/> Pre II <input type="checkbox"/> Pre III <input type="checkbox"/> Pre IV <input type="checkbox"/> Pre V	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	<input type="checkbox"/> 早割 <input type="checkbox"/> 通常		525							<input type="checkbox"/>			
5	男・女	<input type="checkbox"/> 日本協会構成員 () <input type="checkbox"/> 非構成員 <input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> プレ+ 大会 <input type="checkbox"/> プレのみ <input type="checkbox"/> 大会のみ	<input type="checkbox"/> Pre I <input type="checkbox"/> Pre II <input type="checkbox"/> Pre III <input type="checkbox"/> Pre IV <input type="checkbox"/> Pre V	第1希望 第2希望	第1希望 第2希望	<input type="checkbox"/> 早割 <input type="checkbox"/> 通常		525							<input type="checkbox"/>			

- 早割申込締切日: 2011年5月6日(金)、通常申込締切日: 5月26日(金)
- 日本精神保健福祉士協会構成員の方は委員番号を必ずご記入ください。
- プレ企画では、時間帯の重ならないコマであらば、2企画までお申込みいただけます。
- 分科会のご希望は、第2希望までご記入ください。
- 申込書を控えとして、必ずお手元に保管してください。
- 早割申込の方へは5月20日頃、通常申込の方には5月30日には、トップツアーより請求書・参加券等を送付させていただきます。
- 諸費用は、到着後1週間以内に必ずお支払いください。
- 禁煙ルームご希望の方は備考欄にご記入ください。(但し希望に添えない場合がございます)
- ツインをご希望の方は、同室者名を備考欄に必ずご記入ください。
- 手話通訳などご希望の方は右記欄にご記入ください。

(障害を理由とする特別なご要望の詳細)

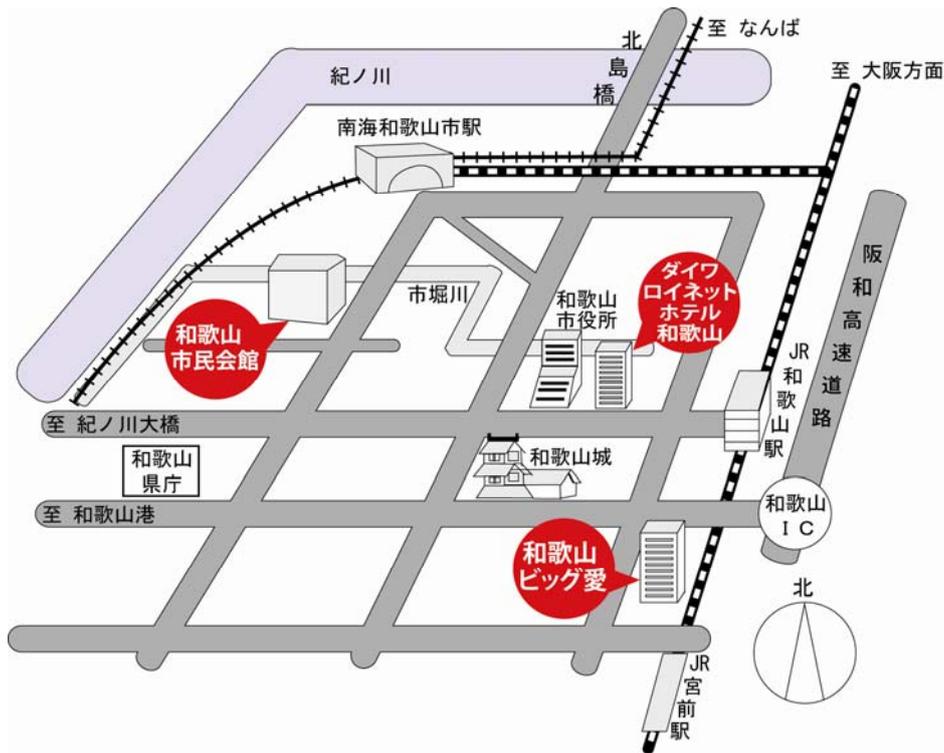
費用
合計

●お申込お問い合わせ●

トップツアー株式会社 和歌山支店
TEL 073-425-3211
FAX 073-424-1683
【営業時間】月曜～金曜 : 9:20～18:00
土曜 : 9:20～12:40

大会・学術集会会場等交通アクセス

※5月22日まで掲載していた和歌山市民会館のアクセス情報に誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます



和歌山市民会館(10日)

所在地:和歌山市伝法橋南ノ丁7 TEL:073-432-1212

JR和歌山駅から

バス バス乗り場④から

系統番号【40】・【42】・【44】・【50】・【52】

南海和歌山市駅行 15分(220円)下車し南西へ徒歩5分

電車 JR和歌山駅～JR和歌山市駅7分(180円)【運行は1時間に1本】和歌山市駅から駅舎を出て右方向(南西)に徒歩5分

県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛(9、11日)

所在地:和歌山市手平2丁目1-2 TEL:073-435-5200

JR和歌山駅から路線バスをご利用の場合

JR「和歌山駅」より「北出島」下車(4分・料金210円)

系統番号【42】マリーナシティ行き(和歌山バス)

系統番号【48】南海和歌山市駅行き(和歌山バス)

系統番号【50】医大病院行き(和歌山バス)

【懇親会10日】ダイワロイネットホテル和歌山

所在地:和歌山市七番丁26-1 TEL:073-435-0055



JR和歌山駅から路線バスをご利用の場合

JR和歌山駅より公園前下車(4分 料金210円)

系統番号【22】マリーナシティ行き(和歌山バス)

系統番号【0】南海和歌山市駅行き(和歌山バス)

系統番号【25】和歌浦口行き(和歌山バス)

南海和歌山市駅から路線バスをご利用の場合

南海和歌山市駅より公園前下車(7分・料金210円)

系統番号【0】JR和歌山駅行き(和歌山バス)

系統番号【4】新和歌浦駅行き(和歌山バス)

系統番号【210】橋本駅前行き(和歌山バス)

和歌山市民会館から徒歩の場合 徒歩約20分

タクシーご利用の場合の料金目安(小型車)

初乗地	料金	時間	距離
JR和歌山駅より～和歌山ビッグ愛	約800円	約4分	約1.5km
JR和歌山駅より～和歌山市民会館	約1,000円	約10分	約3.2km
和歌山市民会館より～ダイワロイネットホテル和歌山	約800円	約4分	約1.5km